

ステップバイステップを
マスターしよう！

S
S
S
スキル
アップ
セミナー

●日時●

2017.4.20.(木)
9:00~16:30
(開場 8:30~)

●場所●

釧路プリンスホテル
釧路市幸町7丁目1
TEL: 0154 - 31 - 1111

●内容●

講演・演習

『SST (ステップバイステップ) スキルアップ』

夢風舎 舎長 土屋 徹 氏

●申し込み●

定員 70名 参加費無料

●問い合わせ先●

釧路市双葉町17-18

担当 原田/今野

TEL: 0154-65-6500

FAX: 0154-65-6470



平成29年度 SST スキルアップ研修会

目的：障がい者の就労支援に取り組んでいる福祉・教育・医療・行政関係者及び企業担当者が、社会生活技能訓練(SST)及び相談技術について学び、さらなるスキルアップが出来ることを目的とするものです。

講師：Office 夢風舎 舎長 土屋 徹 氏
SST 普及協会講師 看護師 精神保健福祉士
元国立精神・神経センター精神保健研究所 ACT-J プロジェクト臨床チーム
リーダー

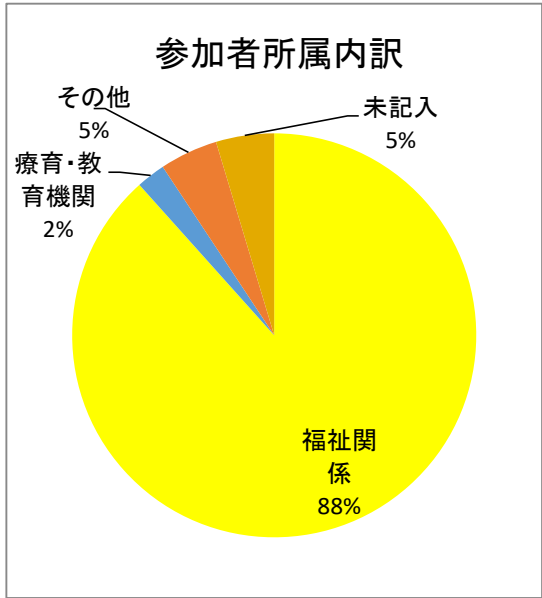
次 第

1. 講義内容 SST(ステップバイステップ方式)について
2. 開催日時 平成29年4月20日
9:00~16:30 開場 8:30
(昼休憩 11:50~12:50)
3. 主催 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん

◎資料同封のアンケート用紙の提出にご協力ください。

アンケート回答所属内訳

療育・教育機関	1名
福祉機関	38名
その他	2名
未記入	2名

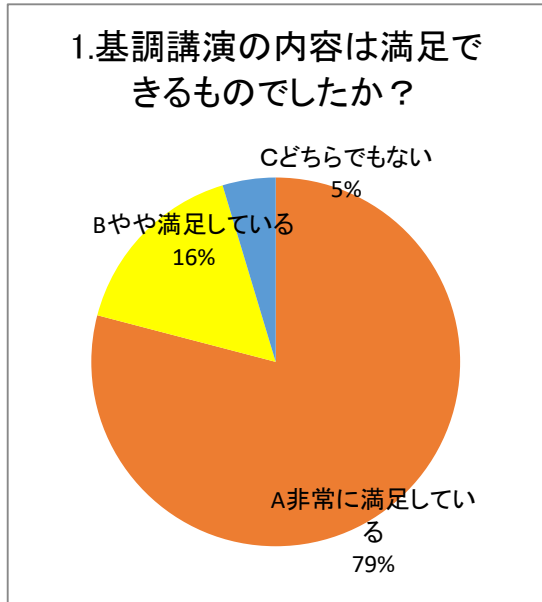


1.SST研修 講演の内容は満足できるものでしたか？

A 非常に満足している

《福祉機関》

- ・ステップバイステップのやり方が分かりやすく勉強になりました。
- ・理解を深めることができました
- ・いつもありがとうございます。毎回勉強になります。11月参加したいと思います。
- ・演習が多く実際にやってみることで話をきくだけよりも身に付ける事ができると思いました。
- ・いつもと違ったSSTでした。
- ・スキルの身に付け方、非常に勉強になりました。
- ・スキルの手順を作っていくのが難しかったですが、先生に助言していただいて勉強になりました。
- ・実際に行って周囲の会話を使い楽しく行えそうなもので現場で行ってみたい。
- ・それぞれの場面に合わせ基本をもとに様々な場面で使えそう。
- ・基本訓練モデルとステップバイステップの違いや、ステップバイステップの一連の流れ手順を学ぶことができ、沢山練習することができました。
- ・身につけてほしいスキルを細分化することが難しかったが先生に助言していただいて非常にわかりやすく理解できた。
- ・自分の作業班をモデルにいただいたことで、実際にすぐ使えそうなものをつかめた。
- ・実践SSTでできそうな気がしてきた。SSTとSSの違いと使い分けが身近に感じた。
- ・不満はありません。
- ・3回目の研修の参加でしたが、改めてステップバイステップ方式を理解することができました。
- ・ただ質問するに4つたくさん手順があるんだなと思いました。SST(個別)でしか活用できる場面はありませんが、教えてもらったことを活用したいと思います。
- ・初めての参加でしたが、以前の講習したのも出してもらえて解りやすかった。
- ・今回は自分自身がスキルアップしていたこともあるかもしれませんが、とても納得できる研修であった。
- ・演習が多くでき、具体的な方法を学ぶことができました。
- ・1日SSTの研修に参加したことがなかったので、午前、午後を通じて参加してよかったです。
- ・職員研修などで他の職員にもお伝えしていきます。
- ・SST研修に初めて参加させて頂きました、とても勉強になりました。ロールプレイでは、自分自身がリーダー等をやりテーマにそった内容で行っていったことが良かったです。
- ・普段行っていることの振り返り、フィードバック、アドバイスをもらえた。
- ・今回の研修を機にまた違った角度から利用者向き合わせそうだから。
- ・ステップバイステップの進め方流れの理解。



1.SST研修 講演の内容は満足できるものでしたか？

A 非常に満足している

《福祉機関》

- ・基本訓練モデルとステップバイステップの使い分けがわかりました。リーダーが提示するSTEPをだすのが難しい。
- ・演習を繰り返し行えてロールプレイの仕方についてしっかり身に付きました。
- ・本も読みましたが、実際に参加してさらに理解を深めました。

《行政》

- ・これから業務に活かせると感じました。

《その他》

- ・今までぼんやりとしか理解できていなかったstepbystepの進め方が霧が晴れたように理解が進んだ。
- ・一方で新たな難しさも感じ、これでいいんだということがない感じがする。

《未記入》

- ・実際にロールプレイできてよかったです。
- ・自分の行動の振り返りもできました。
- ・SSTについてわかりやすく学ぶことができました。

B やや満足している

《福祉機関》

- ・基本訓練モデル、ステップバイステップSS教育の再確認ができ3種の利点も理解できた。
- ・ポイントの明示、何の為に必要なのか等、なぜSSTが必要(有支力)なのかを、支援員自体も理解する必要がある。
- ・初めてのSST研修で、今まで考えもなかった事に対しての手順にステップバイステップが難しく思いました。
- ・繰り返し行い少しでもできるようになりたいです。

《療育機関》

- ・いろいろなスキルが勉強できてよかったです。

《その他》

- ・障害のある方に対して、彼らが希望することをどのように実現していけばよいか、ひとつひとつ順を追って考えていく手法がわかったことと、とてつもなく時間がかかってもひたすら繰り返すことが必要ということを学びました。

C どちらでもない

- ・初めての参加ですべてが新しく感じたので判断が難しい。

2. 研修日程について

A 非常に満足している

《福祉機関》

- ・午後のロールプレイの時間が多くとてもよかったです。
- ・利用者のSSTを見ることができるので良かった。
- ・どの作業班のSSTもすべてみたい。

《行政》

- ・不満はありません。
- ・土日だと保育園に預けられないため。
- ・前日現場、当日はグループで勉強できてよかった。
- ・時間的にちょうどよい。
- ・平日のほうが研修にきやすい。
- ・平日の実施。

《その他》

- ・1日日程だがこのボリュームなら大満足です。
- ・平日、休日どちらでもかまいません。

《福祉機関》

《行政》

《その他》

- ・長いと思っていてもやってみるとあっという間だった。

C どちらでもない

《福祉機関》

- ・平日、休日どちらでもかまいません。
- ・一般参加者(次回は日曜ときいているので)が少ないので日曜日に実施できるとよい。

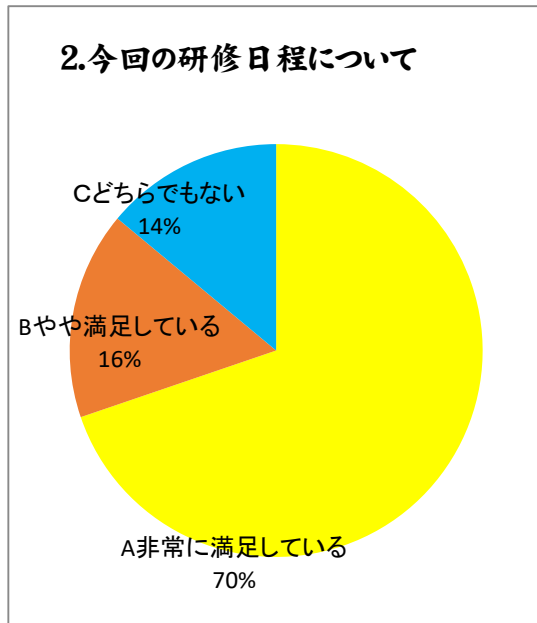
《行政》

- ・日程には問題なかったが、宿直明けの寝不足での参加であった為個人的には集中力が欠けてしまった。

《その他》

- ・土曜日にもやっていただきたいと思います。

2. 今回の研修日程について



3. 今回の研修内容について、ご所属の職場でどのような形で活かしていきたいですか？

自由にご記入ください。

《福祉機関》

- ・一人一人が自分でイメージをつけやすい場面でステップバイステップの練習として実際の場面でできるように練習していきたいです。
 - ・イベントにせず利用者さんのニーズをしっかりと知りたい
 - ・社内研修でロールプレイをして職員に身に付けてもらうことが大切だと思います。
 - ・利用者さんと相談場面で実施していきたいです。
 - ・利用者の方がスキルを身につけて社会生活に役に立てるように支援していきたいです。
 - ・悩み等を確認して実際に行う状況を作りたい。
 - ・必要な場面で活かしていきたいと思います。
 - ・どのスキルのどこが身についていてどこが身についていないのか意識してみたいことができると思う。
 - ・職場型も良いなと思います。(ご本人が何に困っているか、何を求めているかが、アセスメントでもよく分からない方がいる希望(目標)が目に見える形になっている、という感じで受け取ってもらえるのではないかと思います。
 - ・再確認ができたのでさらに手順をうまく使って活用していきたいです。
 - ・まずは1番簡単と思われる事の事例のステップを作成し実行していきたい。
 - ・利用者への希望や悩み、困りごとを解決することに使用したい。
 - ・初めて詳しく研修させて頂き、とても勉強になりました。土屋先生の説明等わかりやすかったです。
 - ・プログラム作成ができていなかったが、より利用者のアセスメントを深め、作成できるようになっていきたい。
 - ・アセスメントを行いプログラムをしっかり組んで行いたい。
 - ・利用者のより良い支援につなげる。
 - ・今まで取り組んでいるSSTの見直し。
 - ・課題を共通したスキルを上げてプログラム化して取り組めるようにしたいです。
 - ・スタッフ4名で「あいさつ」「感謝」「謝罪」「確認」のステップバイステップの準備をして実践したところです。
- これらに加えて他のスキルも準備して、マニュアルを作ってみようと思いました。
- ・利用者が生活の場でしっかり活用できるようにしたい。
 - ・ステップバイステップ、エディケーションモデル、基本モデルを自分達に合った場面状況に合わせて活用したいです。
 - ・利用者笑顔で職場に来所してくれるようにしたい。
 - ・コミュニケーションツール、相談をしてきたりした時に活かしていきたい。

《行政》

- ・自由にやることの危うさと「形」をつくって応用していく大事さがわかりました。これから十分活かせると思います。

《療育機関》

- ・相談者の方にどのように伝えればいいのかを考えることができました。

《その他》

- ・自分自身が対象者に対して提供する支援の一つとして、また、所内で良質なSSTが行われていくよう組織内のマネジメントも行っていく。
- ・職場において、私が障がい者に求めていることを伝えてばかりいたが、「私」の希望ではなく「彼ら」の希望を活かすために存在する職員として今回の研修内容を活用していきたい。

《未記入》

- ・職員で振り返りをして今後生かしたいです
- ・引き続き取り組んでいきたい。

4. 障がい者の就労に関するご意見・ご要望等がありましたらご自由に記入してください。

《福祉機関》

- ・改めてアセスメントの重要性を知りました。
- ・コミュニケーションさえできれば十分働ける人がいるのでなんとかしたい。
- ・企業が今よりさらに障害者を雇用してほしい。
- ・SSTをもっと気軽に活用していきたいと思いました。
- ・障害者支援に必要なスキルがまだ足りません。もっと勉強したいと思います。
- ・社会の受け入れキャパが狭いので広がれば良いなと思います。
- ・会社の相談や思っている事等はどこに相談すればよいか。

《行政》

- ・また勉強させてください。

《その他》

- ・「就労」という言葉がまったく意味のないものとして作業場に来ている障がい者の方が数名いて、私が既存の作業を教えるのではなく、彼らの「原始的」ともいえる能力を活かしたことで、仕事を新たに作ったり新しい社会を作っていく必要があるように思います。職員である自分自身が変わることが求められていると感じました

《未記入》

- ・就職しやすい場所についてもっと増えると就職がしやすい環境になるのではないかと。

5. 今後の研修会の開催に関してご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

《福祉機関》

- ・次回の参加案内を楽しみにしています。
 - ・是非同じ内容でもう何度か行ってほしい。
 - ・今後も職員がスキルアップできるような研修をしてほしいと思います。
 - ・グループに二人くらいSSTに慣れている人がいたが、良かったのかな？と思います。
- 初めての方ばかりだったので戸惑っている人が多かったです。楽しんでできましたが。
- ・また参加したいです。
 - ・今回のように演習、演習、演習をたくさんやりたいです。
 - ・研修を通じて今後もスキルアップしていきたいです。
 - ・障がい者雇用に関する助成金の説明、支援。
 - ・途中からも受け入れていただいたためありがとうございました。
- またSSTの研修を作っていただけでしたらありがたいです。(また初級編をお願いします)

《療育機関》

また勉強したです。よろしくをお願いします。

《未記入》

- ・年に何度か行ってほしいです。

職員研修 報告書・レポート

平成29年4月20日(木)

氏名： 酒井 健一

- ① 研修名： 平成29年度 SST スキルアップ研修会
- ② 研修内容： SST (ステップバイステップ方式について)
 - ・対象者の状況に合わせたトレーニングの形
 - ・人付き合いのコツを身につける手順
 - ・ステップバイステップ方式を用いたSSTの流れ
 - ・ステップバイステップ方式 (望ましい方向に向かっていく)
 - ・スキルを細分化する
 - ・プログラムの作成
 - ・スキルの意義とステップを考える
 - ・ロールプレイ

③ 成果/感想：本日SSTテップバイステップ方式についての研修でしたが、普段支援で取り入れ行っており内容を改めて確認しながら研修を受講する事が出来ました。ステップバイステップに関しては、望ましい方向に進むための方法として、とても良いものだという事も感じております。

④ 今後の支援に活かすため、具体的に実行する行動：現在作業班にて、ステップバイステップを取り入れたSSTを行っていますが、本日の研修で学んだ事 (ロールプレイ時のリーダーの役割、コリーダーの役割、本日のグループ討議で出たスキルについて等) は作業班に取り入れていきます。ステップバイステップには基本的に決まった形がありますが、土屋先生がお話しされていた、独自の色を取り入れた方法についても考慮していきたいと思います。まずそのためには作業班の職員でしっかり行い方について、話し合いを行い進め方について統一をしていきたいと思います。利用者の支援として望ましい方向に進むことが出来るよう、SSTの実践の回数を重ね、色々な場面についての対応の仕方も支援できるようにしていきます。また行った際に分かった課題について振り返りを行い、自分自身のスキルアップを行っていきます。

職員研修 報告書・レポート

平成29年4月20日(木)

氏名： 入谷 奈都美

① 研修名： ソーシャル・スキルズ・トレーニング ～step by step 方式～

② 研修内容：

対象者の状況に合わせたトレーニングの形・人付き合いのコツを身につける手順・SSTの構成要素・ステップバイステップ方式を用いたSSTの流れ・望ましい方向へ向かって行く・スキルの細分化・「断る」というスキルを細分化してみるプログラムの作成・グループワーク・実践

③ 成果/感想：

作業班でもSSTの時間を用いて実施しておりますが、基本モデルとステップバイステップ方式が混ざっている事に気づき、今回正しい型を知ることが出来て勉強になりました。練習する際、「SSTを行ないます」と利用者の方々に伝えていましたが、どうしても苦手意識や、やりたくないという声がチラホラと聞こえる事がありました。SSTという言葉ではなく、「コミュニケーション講座」などの言葉を用いるのもいい事をしり、次回実践する際、活用していきたいと思いました。

各グループになり、実践してみて色々なケースを見る事ができ分かりやすかったです。「丁寧に断る」「タイミングよく断る」という「どのように」という部分を付け足してテーマにしていました。先生から「断る」「話しかける」と漠然と、大まかにした方がよりロールプレイしやすいと助言を頂くことが出来ました。改めて思いましたが、利用者さん一人ひとりのニーズをしっかりと理解したうえで、作業班で活用していきたいと思っております。

④ 今後の支援に活かすため、具体的に実行する行動：

- ・練習するテーマ・意義・手順を決めてすぐ実践するのではなく、事前に職員同士で打ち合わせを行ない、スムーズにSSTを進めていけるよう、職員同士の練習をしていきます。

- ・もう一度、テーマと10回シリーズを考え、利用者さんのニーズに合わせて実践していきます。

- ・問題点ばかりに目がいきがちになってしまっています。その場に望ましい行動は何か、考えながら利用者さんと一緒に考えていきます。

職員研修 報告書・レポート

平成29年4月20日 (木)

氏名： 山崎 瑞愛

① 研修名：SST スキルアップ研修 ステップバイステップをマスターしよう！

② 研修内容

- ・SSTとは 人付き合いのコツを身につける練習であること
- ・SSTの構成要素について 教示→モデリング→リハーサル→フィードバックを繰り返し
返し般化する
- ・SSE、基本訓練モデル、ステップバイステップの使い分け
- ・グループワーク 事例型と職場型
 - それぞれの方法からのアセスメント方法～プログラムの立て方
までの流れ
 - ステップ（手順）の仕込み方法
 - ステップバイステップの進行の教示
 - グループでそれぞれがリーダー・コリーダーを体験

③ 成果/感想

今回の研修では、初めて参加する方もいたのですが、概要は簡単な説明なものであったので、SSEや基本訓練モデル、ベラックのステップバイステップ方式の特徴・使い分けの方法を教えて頂けて、とても勉強になった。また、それぞれに共通しているSSTの構成要素に関しても教示→モデリング→リハーサル→フィードバックを繰り返し、般化するといった基本的な所が再確認することができた。

グループワークでは、2つのプログラムの立て方について学ぶことができた。実際に作業班では、個人のストレンクス・課題・短期目標・長期目標・必要なスキルを書き出し、プログラムを立てた経験から、他事業所の利用者さんを想定する場面では、話しを聞き取りながらストレンクスに埋めていく、課題である点であっても発想転換でストレンクスを導き出すことに関しては、以前受けた研修をもとにスムーズにできたと実感を得ている。本人の希望や願望から必要なスキルを抽出することができ、複数出すことができたことが、成果だと思う。そこで、今回学んだことは、「目標を実現するために身につけてほしいこと」と「ソーシャルスキル」の分類と抽出である。ここの区別を今まで1本化してしまっていたので、「目標を実現するために身につけてほしいこと」のそれぞれに関して、そのスキルができるようになるためには、どのようなスキルが必要なのかと細分化していくことの重要性がわかった。受信・処理・送信に着目して考える方法に関しても、高谷センター長に助言を頂き、理解を深めることができた。〇〇ができるよう〇〇のスキルを練習するだけでなく、〇〇ができるようになるためには、どんなスキルが必要なのかを考えていくことで、より

視野が広がり、簡単なものからどんどんスキル・レベルアップしていくことのできるプログラムの構築ができると考えた。ただ、自分一人で行うと、難しさや固定概念がどうしても出てきてしまうので、他者の意見がとても役立つと考えた。支援者の技量は色々な場面で必要となる。支援者が対象者のいいところ・ストレングスに着目していくと本人の希望に向かった支援をしていくことができる。また、その人の病気や障がいによって身につけたいスキルを決めるのではなく、その人の社会経験に応じて、SST（SSE、基本訓練モデル、ステップバイステップ）を活用していくことが大切だということがあった。

グループワークではほぼ経験がない方の中で実施してみて、ある程度スムーズにできた点と周囲からの意見を頂き、自信につながった部分もあります。今回は、リーダーの立ち位置や視点について教えて頂けたが、コリーダーについてもアシストをするだけでなく、対象者の意見を出しやすいような動き方等今後機会があれば教えて頂き、学びを深めたい。土屋さんのSSTの進め方をみて、感じたことは、シンプルに行うことだ。自分が実際に行っていて、つい余計な情報を言ってしまうたり、メンバーから他の情報が出てきたり、方向がずれていってしまうことがあるのでそこがシンプルにできるとSSTの構成要素を最大限に発揮することができると感じた。

④ 今後の支援に活かすため、具体的に実行する行動

- 1、SSTの使い分け
- 2、プログラムの構築～特に目標を実現するために身につけることとソーシャルスキルの部分
- 3、実施～リーダーの視点「ステップ通りできているか？」
「こういうふうにやるともっとよくなる点」
「できていたら+α」
メンバーにも判断してもらおうが、そこはリーダーの視点で。
- 4、できていた時の対応～もう一度やってもらう
身につけていることをほめる
場面をかえてやってみる
- 5、自分自身もスキルを身につける
- 6、職員間で仕込みをし、練習する

